

沢田鶏舞



指定区分	市指定文化財
種別	市無形文化財
名称	沢田鶏舞
所在地	十和田市大字沢田
保護団体	沢田鶏舞保存会
指定年月日	平成 5 年 7 月 5 日
概要	<p>沢田鶏舞は、江戸時代末期に五戸町切谷内からおいらせ町下田本村に伝えられたものが、明治 20 年代に沢田の水尻住民に伝えられたものである。伝承当初は水尻けんばい（剣舞）といい、水尻・向村・館の 3 集落の踊り手で構成され、主に広場で祝福芸能として踊られた。この芸能は、徳川三代将軍家光公が命令して家臣の屋敷内に現れる亡霊を剣舞念仏で除霊させたとの言い伝えから、悪霊退散の供養踊りとして広まりまったといわれている。また、鎮魂の霊力があるとされる鶏をかたどった烏帽子をかぶることから鶏舞の文字をあてるようになったといわれている。</p> <p>9 月の沢田八幡神社の祭礼時に、無病息災、五穀成就を祈願して奉納される。鶏舞は、タイシカ 1 人、シケンバイ 2 人、トリッコ数人が、作り物のシダレヤナギを囲んで輪になって踊る。演目として「通り」「庭打ち（庭入り）」「シシ」「一本扇子」「ハイナ」「三国」「ヒキハ」「ウナギナタ」「初入れ」「二本扇子」「さんさ」「仏壇念仏」「墓念仏」「綾棒」「さんば」「たかだち」がある（一部廃絶）。「ヒキハ」の後半では、タイシカンとシケンバイの 3 人が激しく踊り、最後はタイシカンの独演となり、舞い納めをする。</p>